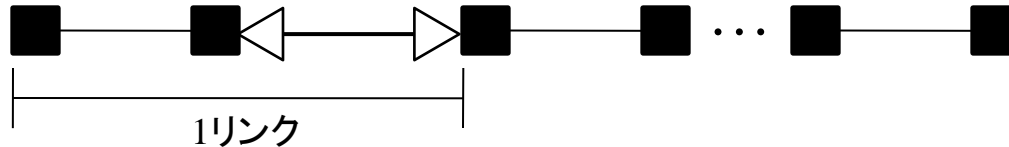


- (1)本競技は、U/UTPケーブルをモジュラジャックとモジュラプラグの接続により、より長く接続することを競う。
- (2)以下の接続図に従って、両端プラグ成端のパッチコード、両端ジャック成端のツイストペアケーブルを作成し、各々を接続する。



- (3)はじめは、モジュラジャックの作成から始めること。また、最後は必ずジャックで終わること。
- (4)パッチコード、ツイストペアケーブルの長さは約0.3mとする。
- (5)結線はいずれもT568Aとする。
- (6)モジュラジャックは支給する。モジュラプラグは各自が持ち込むこと。
モジュラジャックはNR3061(松下電工)、モジュラプラグはCat.5e(型番任意)、ケーブルはU/UTP(Cat.5e)とする。
- (7)競技時間は30分とする。
- (8)競技開始前に、モジュラジャックのIDCキャップを外しておくことを禁じる。
- (9)同一作業(外被除去など)を複数のケーブルにまとめて行うことを禁じる。
- (10)準備時間は設けないので、休憩時間中に準備を行うこと。
- (11)接続タイム開始時は、作業椅子に座って、いつでも作業開始ができる状態にしておくこと。
- (12)作業台、作業椅子、固定治具の使用は自由とする。
- (13)ラベリングは必要ない。ただし、開始点は必要。
- (14)競技エリアの正面で作業をすること。
- (15)競技中にトラブル等が発生した場合は、挙手のうえ、競技委員に申し出ること。
- (16)上記以外の作業については、各競技者が工夫をして行ってよい。
- (17)IDCキャップの外し、挿入に専用の治具を用いても良い。ただし、一括で複数同時に行うことは禁止する。
- (18)かしめ工具は1個のみ使用を許可する。ジャケットストリッパは複数使用しても良い。

課題5の採点ルール

以下のルールにより算出されたポイント数により絶対評価点と相対評価点の合計点を課題5の点数とする。

基本ポイント: 接続されたリンク数を目視により確認・算出し、1リンク=1ポイントとする。

- ①ワイヤマップ試験をリンク全体で行い、ワイヤマップエラーが生じた箇所は断線と判断し、その箇所を最終接続箇所としてリンク数を算出し、最終ポイントとする。
- ②①の断線箇所は、接続開始口から順に、各リンクを測定し判別する。
- ③リンク全体のワイヤマップが正常であった場合は、次に各リンクを順に測定する。各リンクとも正常であった場合には、基本ポイント=最終ポイントとする。
- ④成端箇所に、より戻しや外被異常などの不良箇所があった場合には、基本ポイントより1ポイント/箇所減じる。
- ⑤ルールの違反があった場合には、基本ポイントより5減じる。
- ⑥最後がプラグで終わっている場合は、そのプラグ接続は無効とする(直前のリンクまでをカウントする)。
- ⑦接続ポイント数1位～3位の者には、絶対評価点に加えて相対評価点を与える。接続ポイント数1位の者は+2点、以下、順に+1.0、0.5点となる。同一ポイントの者が複数いた場合も、同じポイントを与える。その場合も、順位は飛ばないこととする。

配点表

7点	_____
5点	25ポイント
4点	_____ 23ポイント
3点	_____ 21ポイント
2点	_____ 20ポイント
1点	_____ 18ポイント
0点	_____ 0ポイント

相対評価点

出場選手の中で、接続ポイントが上位3位の者に対して配点する(2、1、0.5)。

絶対評価点

接続ポイント数により配点する。

課題5について

配布されているDoc.4中のルール以外に、以下の点を注意のこと。

■事前準備

事前準備の注意事項は次のページの通りとする。

■作業手順

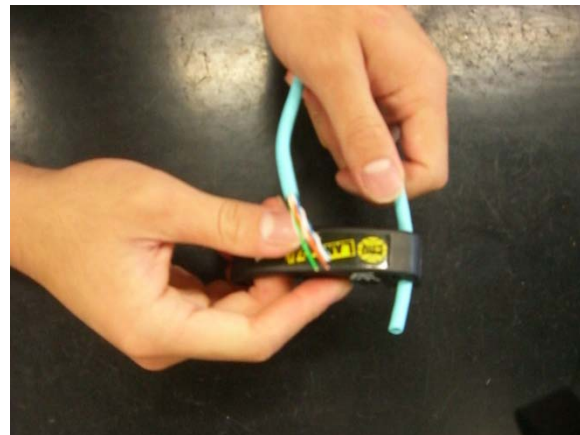
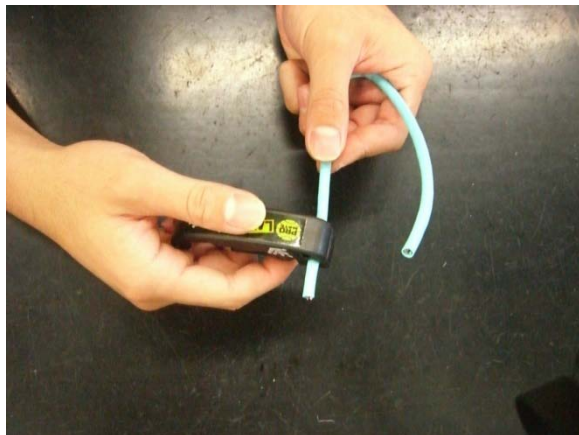
作業手順の注意事項は次のページの通りとする。

■追加ルール

- (1)始点となるジャックに、「始点」とラベリングをすること→競技時間中。
※測定する際の「始点」とするため。
- (2)時間内に終了したものは、終了と宣言し、その場で待機すること。
- (3)競技時間が終了した後に、以下のことを行うこと。
 - (a)各自、配布された用紙に作成し接続したリンク数と氏名を記入すること。
 - (b)作成したリンクは、配布されたBOXに入れること。
- (4)測定器の使用は自由とする。

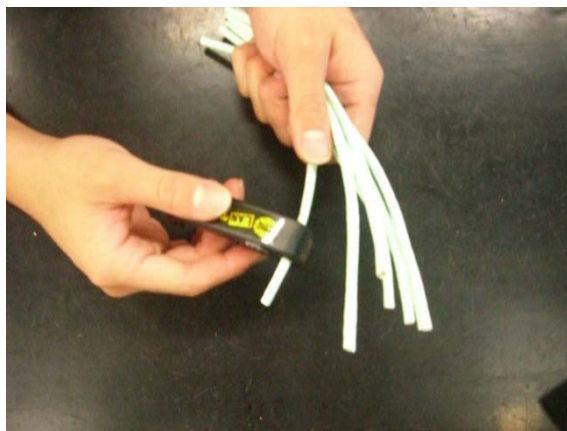
作業手順

①



ケーブルを折り曲げ、片方の被覆を剥いで、次に他方の被覆を剥ぐ→OK
※このとき、ケーブルの曲げ半径は問わない。

②



同一作業を複数本まとめて行う→NG

③



複数本の被覆をまとめて剥いであら、プラグをつける→NG
※必ず、1本1本作ること。

④ジャックやプラグを交互につくらず、例えば初めにジャックをすべて作成、後からプラグを作成し、最後につなげていくことはOK.

事前準備

①

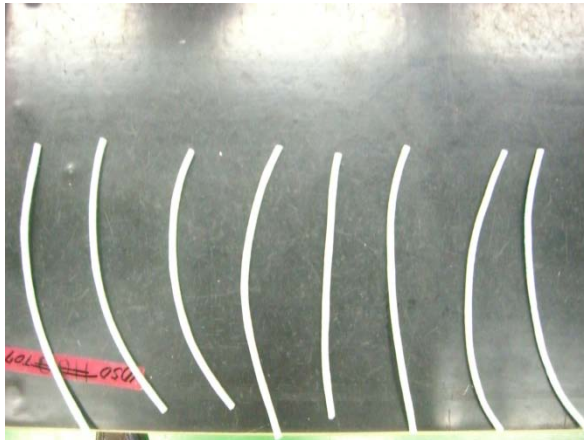


○

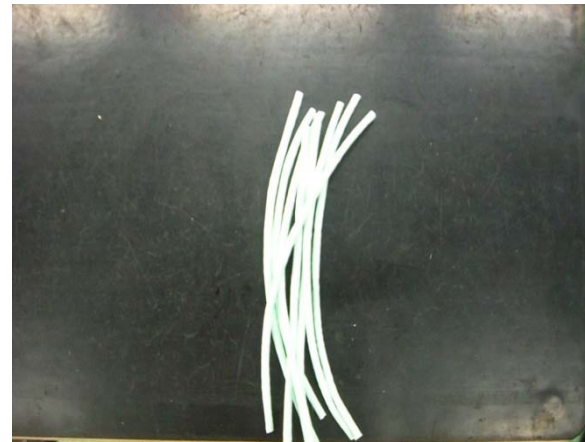


×

箱により分けて入れていくことはOKだが、ジャックのキャップをはずしておくことはNG。



○



○

作業台の上であれば、ケーブルはまとめておいても、ばらばらにして取りやすい状態にしておいてもOK。**このとき、ケーブルは折り曲げずにおくこと。**